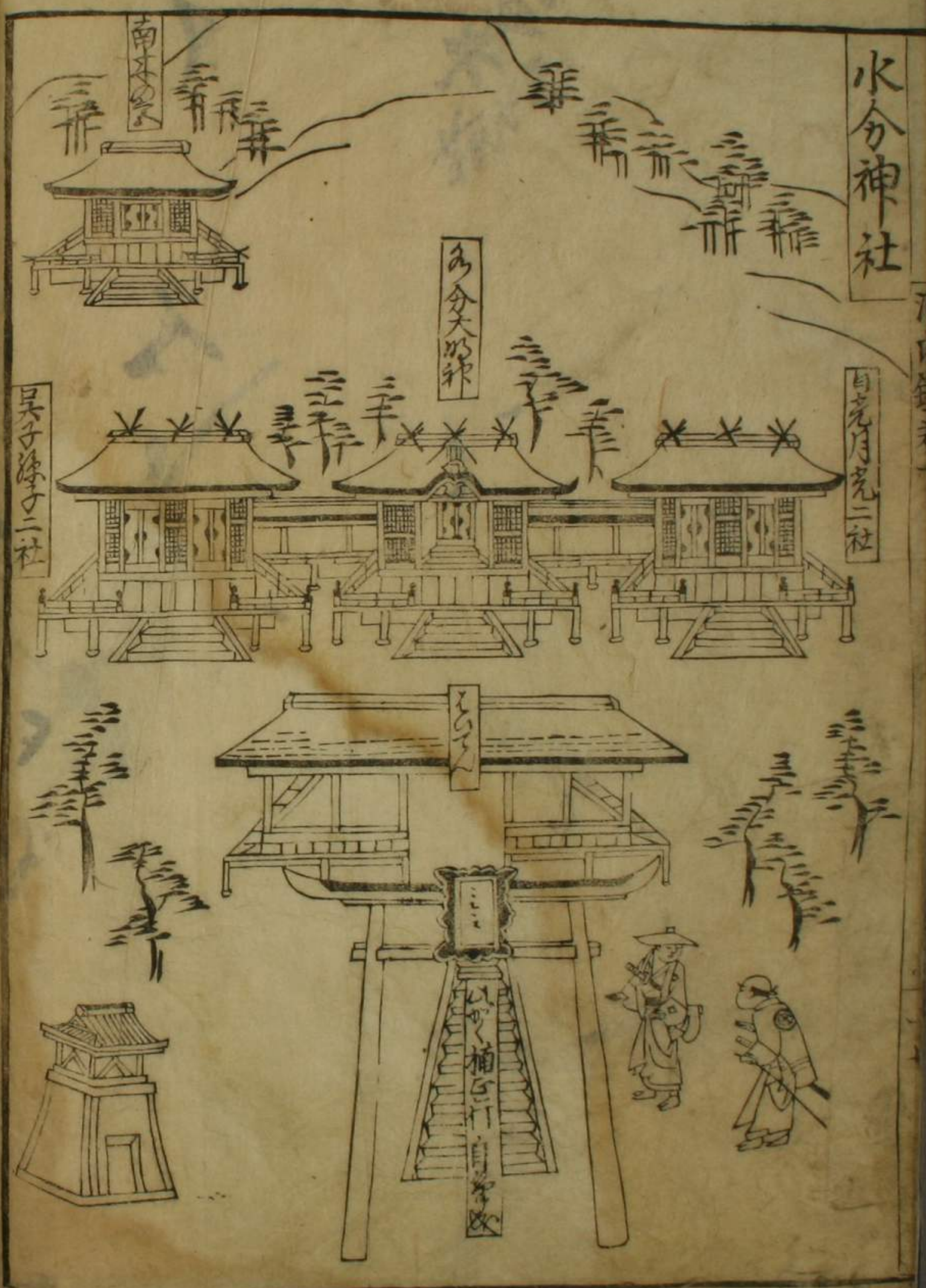


水分神社



にあり毎とどいふんちん神のまこと 貞室

水ふや回らむら民れちり神下 同

すいふんり神風そくや梅れぬ 津久

波れはくさくさく水分の林くさ 松原

○水分管寺十一面観音立像所長六寸五分あり河原乃死

○水ふ分懸心ち十一面観音立像所長六寸五分あり河原乃死

○河野高の観音十一面観音所長六寸五分あり河原乃死

○芥生谷野老乃名物 正音

捕人小根がまきか河芥をぬはるの水におきあられぬ

日 重次

はとあ海久くもさく芥をぬはるの水におきあられぬ

曹消く七草はじや根口あり 自定

鶯れよりより里う芥生 谷 唯正

口りたふいふ久名ゆあところ海小 固西

餘らくがほりとも芥若野老か 一利

わきやはけめ野老も夏を根若若 友和

○馬岩親善寺十一面観音立像御長三尺

多若れ花りんや馬以親善草 重次

○森板屋常念寺三観音御長三尺三寸餅つと云云有

神山休願堂十一面観音御長三尺三寸餅つと云云有

枝やまの餅つと云う守印紫 政公

○東条川 一也

ちりやの神山風吹落く東条川よの流

波乃智や東条川のあせうき 久任

○寛榮寺大倉堂三場乃地蔵菩薩の比奈七若伽藍西記あり

ま雨と牛中かかるとんつ大回堂 志重

花よりととんこくまの道と地蔵 光善

めくこあな神の佛田乃丸めうか 吉重

くく比花うのくや若れ綿やじ 同

○日出月村光の寺正保院正観音 土月清

海のうい堂乃内故のかまやうふとてとて也

○中津原の観音寺聖観音菩薩同れ他 兼師海縁の院の依

○小吹村蓮花寺十一面観音御長三尺二寸



○耳南佐村白揚梅の名木あり

大いしく大白くはくくあり

相奇

意翔

かんあびれやまのれ木つるまの白くを突きいせの盛也

同

友和

たがけしうんかびつらそ揚梅れ志らさい家つら家とす

同

一有

仙人と書いしる海いひわらそしふそり毛おまより

心之

大いなるやまのりさうふいしく一門のまの酒れくんあひ

○佐佐村妙見寺正親善師長一尺八寸五分の基の石也

○作善不動明王御長又尺弘法御作佐佐依

○河内親善寺正親善師長一尺二寸思沙つ四尺三人

○中村大日堂業師堂善日又下り雲祥木也

○百田村親善寺正親善師長一尺八寸在ス

○龍泉寺

ふもとの上たてのむら

藤我大信の本札をいりわいふた流たわり無沙行して

ふせしにいより大信池のそいふかんゆす七日七夜に河沙王人

つららとやんく大信の誓言をいり我信法よりるあま

と則をいりいかにかり龍さりぬそいり水湯しそ流た

まうらにち院建立するそ後大師加持ありまふ内本

乃龍法味とらんい池よゆり清ありと出そ流と余

たえに本堂南じと茶師如來半以天王乃之有又沈
 大小宮の北内大の池中に瀆三つの中ハ并々天右ハ聖天
 左ハだん也小三つ内ぞころ茶をぬつたも又東新池可
 る石の少くして大むてりれれば雨と雨とつてる乃
 少とのをわまハ俄よぬつとて坊敷廿九新二玉門五三玉々
 弘法以他龍泉寺とまころ敷い東寺の長者大光寺は
 新泉寺の内中山寺も以観音菩薩像沖長守寺六分
 咲花り一毎と吟とや新泉寺 則武
 夕立れ雲やひとら新泉寺 惟貞
 面をりとどりうりよう新泉寺 貞弘
 雨乞や乞泥天よりわりの新泉寺 友友



大伴少将

大伴のつら



別井の観音

別井村

○白木村観音寺十一面観音門長一尺六寸

あゆ人ともくふや白木ねらうめ 常有

く世同ふい白木ねらや花ね看 玖也

里れ名の白木ねらうらたら葵 可清

紙のほり出とや白木ねらうめ 貞室

急者さ人里や白木ねらうら 利房

○平石村観音寺十一面観音長一尺六寸平石乃埜池あり

観音

松録

るてあしむしと今もあはれあとしその名もくわりのまひるを

平石乃観音寺長一尺六寸平石乃埜池あり

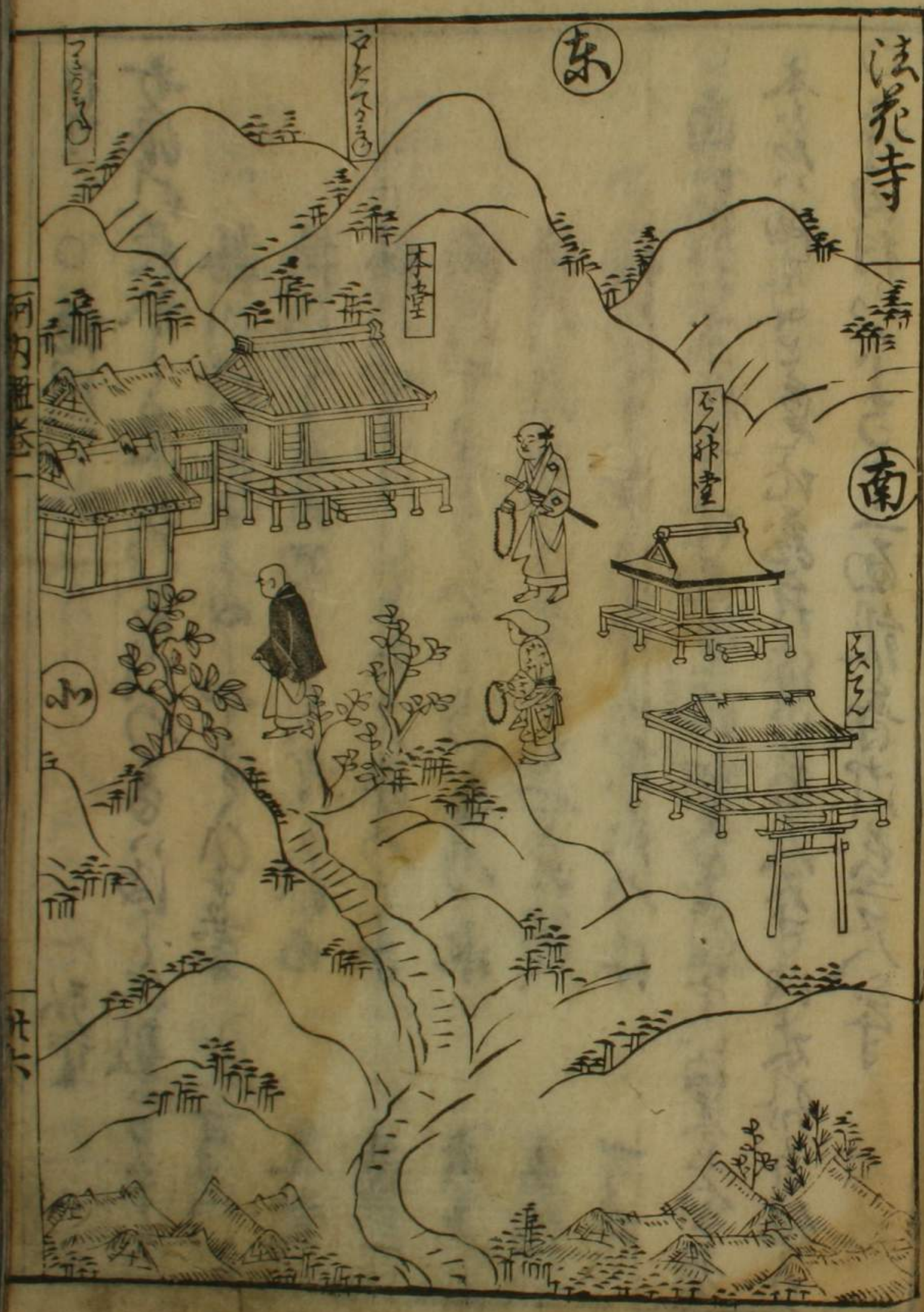
平石乃あはれあとしその名もくわりのまひるを

秋風よいしむしと今もあはれあとしその名もくわりのまひるを

河内縣志

良寛

光伯
室勝



法花寺

○法花寺山加納村一在亦高野法花宗平と云はれり
 而也元々そり家子なることり家子留川はつてあつた梅川と云也
 相家

法花寺れおり出河和川川流きむ月とあつたといと

日

和川川水くこころふ影敷こころとそりあつた法花寺

花よ吹風よそり立ち家子しう那

風よけやそりくくく家子とあつた

是ハ天のそり立ち花うみり園

かあつたのそり立ちくく家子とあつた月

冬こののり里やそりくく家子とあつた風

津久

久任

政長

富吉

元申

圓休

意羽

寄 ○梅川

弘堂

打浪花飛く見るじの川の海に教とそき

梅川の岸より梅やうくひも葉 可清

梅川やまれば物もくなくれあ 先伯

梅川やうくくもりの浪乃くふ 嘉明

梅川や星さくつこひま乃水 秀立

梅川れ香りきくや花散 香隆

梅川よもあくもすりや花乃浪 可正

○南加納村東福寺は花堂淳和天皇御宇に由木上之爾基

本名ハ由木と云は花乃浪乃長一尺二寸由木れは自他より

○寺田村山下ち十一面観音沖長二尺三寸

○大ヶ塚村観音堂長正寺正観音由長一尺二寸以観音ハ

下総正徳傳那ふとらとせん観音もくありとらとら

乃我財宗あ置已くも一沖本寺也

大ヶ塚ハ根来法師城擲り旧池なり

花乃河ふくもりん観音堂 可清

徳悪きくこもり花や名堂 可正

○一瀬村長十一面観音長天社一丈二寸大塚あ友氏社

白梅や花かみ一とりの沖津木 一十

○山城村浮屠大明神大泉寺正観音舟儀弘法乃作

氏やこりぬらりくこれ社あり 可正

お社示乃終らりもこれ名居か 同

○^{かひの}栲尾村宗為寺十一面觀音は長三丈八拵は大本尊

相并 正音 枝折て手にいられるの栲をめぐらさばくまのり木をり

たらし花と栲の尾そなを部云 意辨

○^{いろう}弘川寺役乃初若れ開基山号龍池おはま本堂は高麗師

貞徳所長二丈八寸役乃初若れ池也清水原天皇一宿は

想あ庭よは金利末とては流んは池の上にて臥すあは金梨

一粒乃内まをまは後鳥羽院初等も大原の山自地は乳^{土依二輝有}

云坊は西南流^北土面観多^北云寺大原の池也寸や栲と云名木あり

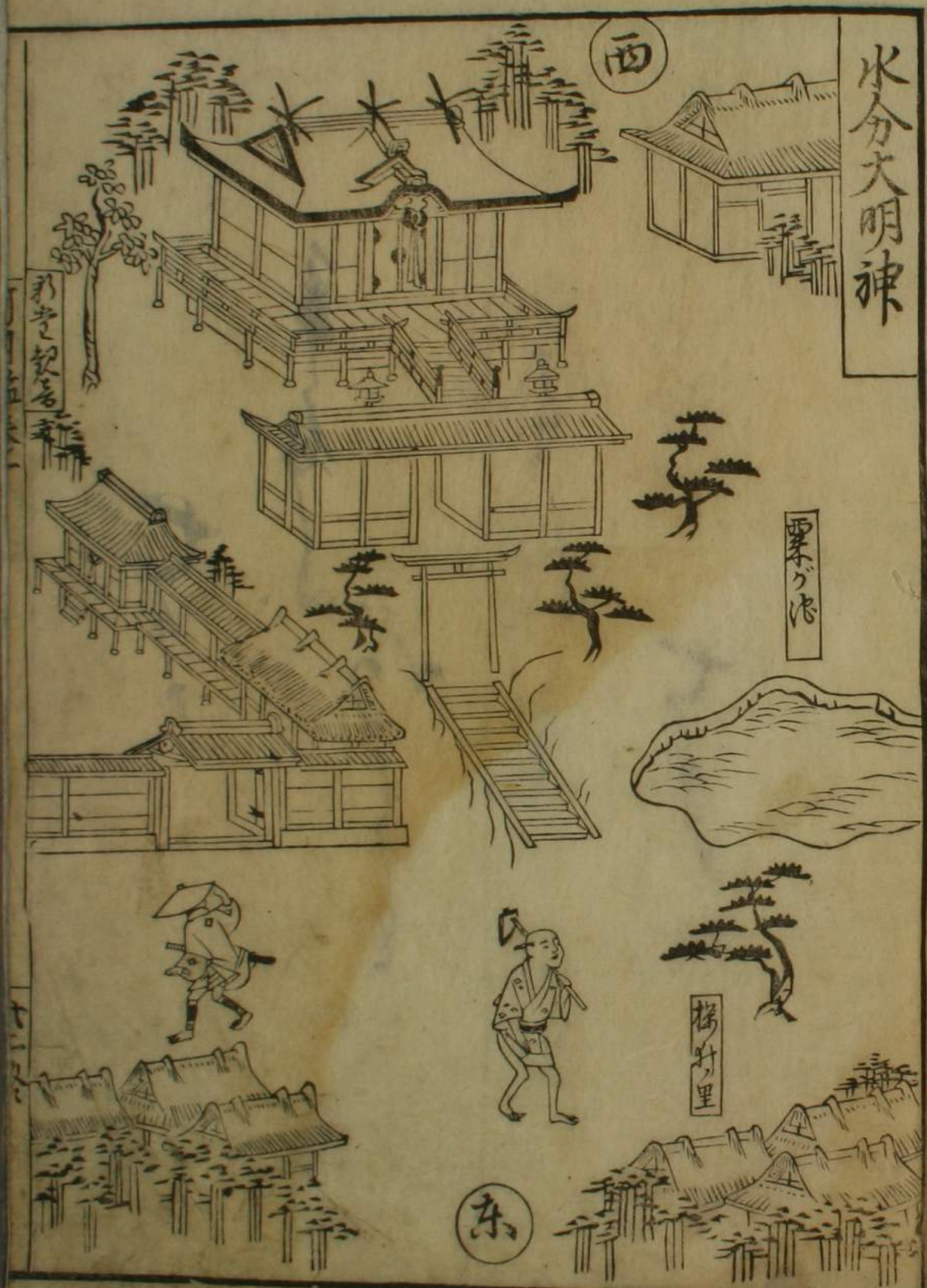
わの蝶やすやくとら弘川寺 保慶

花籠と徳利つかり寸を栲 松縁

弘川寺







水分大明神

○新雲村寶海寺土面敷者 新雲村寶海寺 久任

○新雲村 寶海寺土面敷者 新雲村寶海寺 久任

○栗ヶ池聖武天皇の御代に築かれたといふとあり

ちり花しるるかなや水のあはらけ

夏来くやめもい桶はあはらけ

紅葉射やめきてつらむあはらけ

○新雲村 梅井をよめるのじらむくはありありとあり

梅井や花れ枝なるといほ下

梅井やるととたるとる法らあ

あつふあんくむ梅井やうれ陰

○下れ水分大明神

義政 二十 吉重 一十 黒水 一十

